

福山市総合戦略の期間延長について

福山市総合戦略の期間延長

福山市総合戦略の期間延長

➤ 地方版総合戦略は、国、県の総合戦略を踏まえて策定する必要があることから、県の方針とあわせ、現在の総合戦略の計画期間を1年間延長する。

- 現行の福山市総合戦略の期間 2015年度～2019年度 ⇒ 期間延長後 2015年度～2020年度

福山市総合計画との連動

➤ 本市の中長期的な視点に立ったまちづくりを総合的・戦略的に推進するための福山市総合計画と一体的に取り組み、計画期間を一致させる。

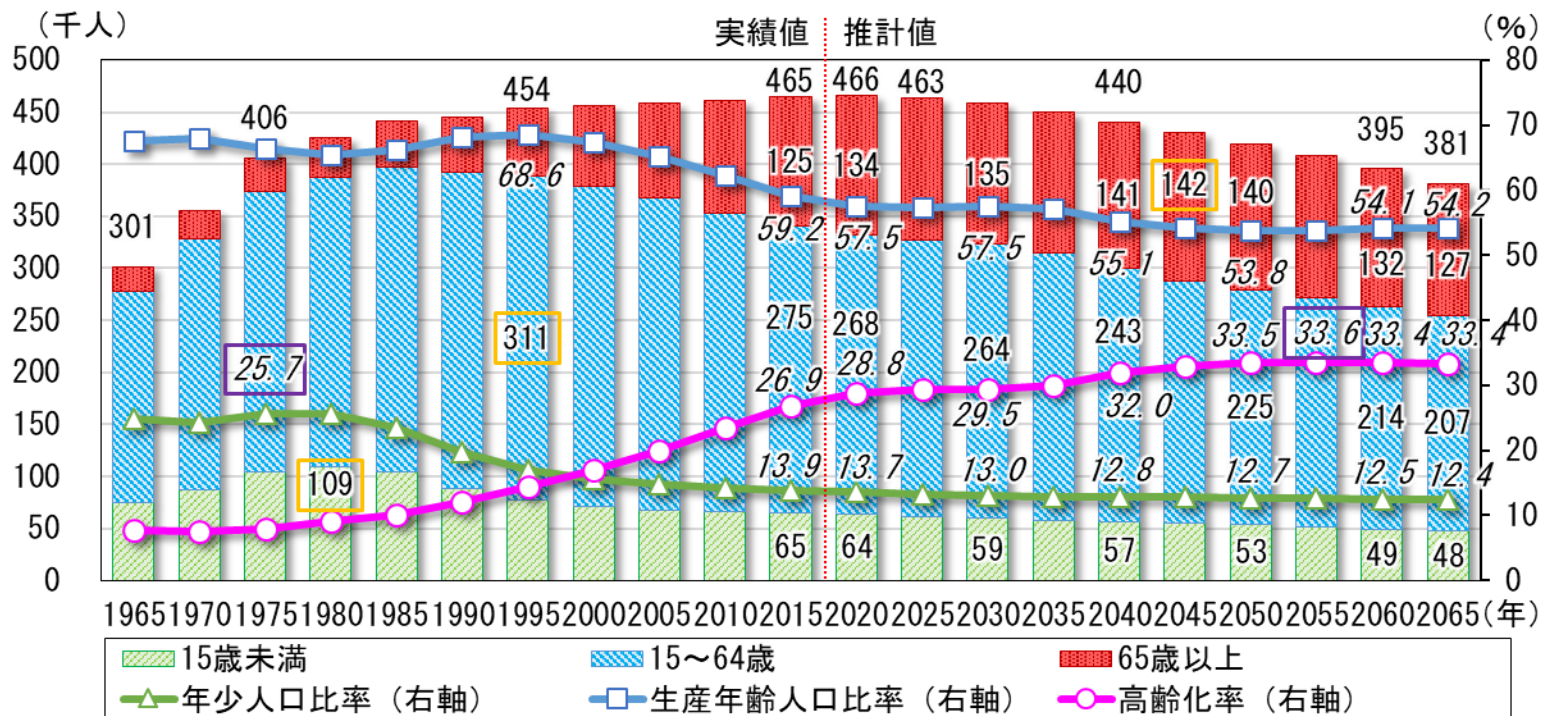
区分	～2019年度	2020年度	2021年度～
国の総合戦略	現行(2015～2019)	次期(2020～2024)	
県の総合戦略	現行(2015～2019)	1年延長	次期(2021～)
市の総合戦略	現行(2015～2019)	1年延長	次期(2021～)
市の総合計画	現行:第1期基本計画(2017～2021)		1年前倒し 次期:第2期基本計画(2021～)

↑
計画期間の一致

福山市の人口推移(社人研推計)

総人口・年齢三区分別人口の推移

- 本市の総人口は1975年に40万人、1995年に45万人を超え2015年には46.5万人と緩やかな増加傾向で推移
- 国の推計によれば、今後は2020年までは増加傾向が維持されるもののその後は減少に転じ、2065年には38.1万人まで減少することが見込まれている。
- 年少人口(0～14歳)、生産年齢人口(15～64歳)は減少傾向で推移し、高齢人口(65歳以上)は2045年までは増加傾向で推移することが見込まれる。
- 少子高齢化に伴う生産年齢人口の大幅な減少により、地域の担い手の確保が大きな課題となる。



(注) 2015年までは実績値。2020年以降は推計値

(資料) 総務省「国勢調査」, 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」(2018年3月推計)

福山市の人口移動の状況

国内外での転入転出状況(2018-2019)

- 2020年1月に総務省から公表された「住民基本台帳人口移動報告」によれば、2019年、福山市は2,569人の転出超過で社会減(総務省「住民基本台帳人口移動報告」は国外との人口移動が含まれない)
- 前年比では転出超過数が571人(内訳:日本人206人, 外国人365人)拡大
- 国外移動人数も含めた社会増減をみると2019年は+377人で転入超過となり、2018年に続き社会増

		2018年			2019年			前年比		
		総数	うち日本人	うち外国人	総数	うち日本人	うち外国人	総数	うち日本人	うち外国人
国内移動 住民基本台帳移動報告	転入者数 (A)	10,955	9,977	978	11,168	9,991	1,177	213	14	199
	転出者数 (B)	12,953	10,237	2,716	13,737	10,457	3,280	784	220	564
	転入超過数 (A)-(B)	▲ 1,998	▲ 260	▲ 1,738	▲ 2,569	▲ 466	▲ 2,103	▲ 571	▲ 206	▲ 365
国外移動	転入者数 (A)	4,263	384	3,879	4,853	362	4,491	590	▲ 22	612
	転出者数 (B)	1,882	412	1,470	1,907	362	1,545	25	▲ 50	75
	転入超過数 (A)-(B)	2,381	▲ 28	2,409	2,946	0	2,946	565	28	537
計	転入者数 (A)	15,218	10,361	4,857	16,021	10,353	5,668	803	▲ 8	811
	転出者数 (B)	14,835	10,649	4,186	15,644	10,819	4,825	809	170	639
	転入超過数 (A)-(B)	383	▲ 288	671	377	▲ 466	843	▲ 6	▲ 178	172

(出所)総務省統計局「住民基本台帳人口移動報告」、福山市資料より作成

特に0-4歳, 30-44歳の
子育て世帯の転入が減少

日本人の転入転出状況(2014-2019) 国内移動

- 増減はあるものの転出超過が継続

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
転入	10,053	10,258	10,017	10,210	9,977	9,991
転出	10,432	11,114	10,458	10,554	10,237	10,457
増減	▲ 379	▲ 856	▲ 441	▲ 344	▲ 260	▲ 466

数値目標・重要業績評価指標(KPI)等の変更

見直しの考え方

- 総合戦略を推進するための4つの視点に対応した数値目標・KPIのうち、最新値で目標を達成しているものなどについて、期間の1年延長に伴い、新たな目標値を設定(以下に掲載)
- 最新値で未達成のものについては、目標値の変更は行わない。

視点1

安定した雇用を創出する

数値目標・KPI	基準値	目標値	最新値	(新)目標値	見直し理由
市内従業者数	206,888人 (2012年)	210,000人 (2018年)	213,750人 (2016年)	213,750人以上 (2020年)	最新値以上の数値を設定
福山港国際ターミナル取扱量	83,000TEU (2018年度)	—	—	84,000TEU (2020年度)	現行のKPIに関連する事業が終了したため、これにかわるKPIに変更
6次産業化による新商品開発(累計)	— (2014年度)	6件 (2019年度)	15件 (2019年度)	17件 (2020年度)	2015年度～2019年度の実績値を踏まえ設定
首都圏販路開拓事業のマッチング件数(累計)	— (2014年度)	25件 (2019年度)	28件 (2018年度)	30件 (2020年度)	目標値に、目標値設定と同一方法で算出した数値を加算
創業促進セミナー受講者数	— (2014年度)	80人 (2019年度)	234人 (2018年度)	250人 (2020年度)	2015年度～2018年度の実績値を踏まえ設定
女性創業者数	— (2014年度)	10人 (2019年度)	14人 (2018年度)	25人 (2020年度)	2015年度～2018年度の実績値を踏まえ設定
知的財産アドバイザーへの相談件数	315件 (2014年度)	525件 (2019年度)	531件 (2018年度)	550件 (2020年度)	目標値に、目標値設定と同一方法で算出した数値を加算
産業支援コーディネーターの派遣企業件数	28件 (2010～2014平均)	32件 (2019年度)	54件 (2018年度)	55件 (2020年度)	2015年度～2018年度の実績値を踏まえ設定

視点2

魅力を高め、新しいひとの流れをつくる

数値目標・KPI	基準値	目標値	最新値	(新)目標値	見直し理由
総観光客数	6,758千人 (2014年)	7,100千人 (2019年)	7,162千人 (2018年)	7,720千人 (2020年)	第2次福山市観光振興ビジョンに対応した数値
備後圏域の総観光客数	20,920千人 (2014年)	基準値より増加 (2019年)	23,023千人 (2018年)	24,152千人 (2020年度)	第2期びんご圏域ビジョン(案)に対応した数値
道の駅等への来場者数	222千人 (2014年度)	227千人 (2019年度)	239千人 (2018年度)	241千人 (2020年度)	最新値に、目標値設定と同一方法で算出した数値を加算

視点3

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

数値目標・KPI	基準値	目標値	最新値	(新)目標値	見直し理由
ふくやまde愛猫 [®] ターが仲をとりもった数(累計)	— (2014年度)	20組 (2019年度)	67組 (2018年度)	100組 (2020年度)	2015年度～2018年度の実績値を踏まえ設定 ※上記期間の平均増加件数 17件
地域子育て支援拠点事業を実施する施設数	29施設 (2015年度)	33施設 (2019年度)	33施設 (2019年度)	34施設 (2020年度)	福山市ネウボラ事業計画(案)で設定

視点4

安心・安全に暮らし続けることができる地域をつくる

数値目標・KPI	基準値	目標値	最新値	(新)目標値	見直し理由
健康寿命の延伸(平均寿命と健康寿命の差)	男性:1.28 女性:2.99 (2011年度)	平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加 (2019年度)	男性:1.26 女性:2.81 (2017年度)	平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加 (2020年度)	最新値から縮減
全国学力・学習状況調査における全国平均以上の項目数(小中学校2項目)	小:2項目 中:0項目 (2019年度)	—	—	小:2項目 中:2項目 (2020年度)	現行のKPIの基となる調査項目に変更があったため、これにかわるKPIに変更

福山市総合戦略の取組の強化

現行の総合戦略の4つの視点

視点1 安定した雇用を創出する

- (1) ものづくり産業の競争力強化
- (2) 第一次産業の活性化
- (3) 若者定着の促進と安定した雇用の創出
- (4) 高等教育機能の強化

視点2 魅力を高め、新しいひとの流れをつくる

- (1) 観光振興
- (2) 地域振興

視点3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- (1) 結婚の支援
- (2) 出産・子育ての支援

視点4 安心・安全に暮らし続けることができる地域をつくる

- (1) 医療・福祉サービスの充実
- (2) 健康づくり
- (3) 時代に対応したまちづくり
- (4) 地域を支える人材育成

強化する取組

現総合戦略記載事項
の一部修正

新たな人口減少対策

資料2

アクションプラン2020の推進

- ・市民の“希望のライフスタイル”を応援するため、新たな人口減少対策アクションプラン2020を推進

関係人口の創出



ワーケーションふくやまの推進

- ・首都圏のクリエイティブ人材などに、福山で働き・暮らし・交流する体験の場を提供
- ・企業・地域との交流を通じて、企業や地域が抱える課題の解決を促進

MICE戦略の推進



MICEの戦略的な誘致

- ・開催地での高い経済波及効果やビジネス機会、イノベーションの創出などが期待されるMICEの推進

ICT戦略の推進

資料3

ふくやまICT戦略の推進

- ・人口減少社会の到来を見据え、AIやIoTなどの先端技術を活用した新たな都市づくり(Society5.0の実現)を推進

次期総合戦略の策定に向けて

AIによる人口減少対策の再構築

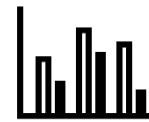
AIを活用したペルソナ分析による未来予測

京都大学などとの共同研究

- 大学や民間企業と連携し、施策構築のプロセスにAI技術を導入
- AIによって、起こり得る未来を分析し、人口減少対策を再構築



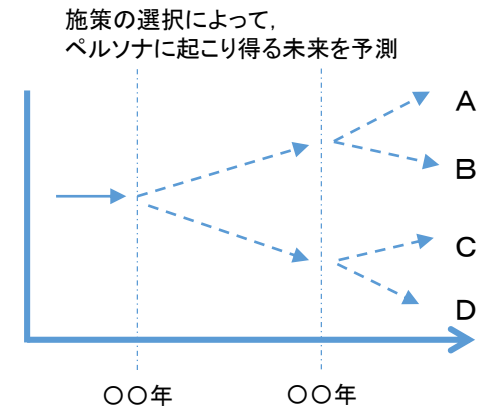
ペルソナとの
ワークショップ



データ整理



AI分析



今後の進め方

2月26日（予定）

➤ ライフスタイル応援会議の特別企画として、まずは**子育て世代を対象にワークショップを実施**

4月以降

- 就活大学生（市内大学等との連携）や移住者等を対象に、ワークショップを実施
- 未来予測の分析、関係者との戦略検討（京都大学、市内大学、ライフスタイル応援会議等）
- 研究結果を、**次期総合戦略（2021年度～2025年度）に反映**